



## 第3回みなみっ子集会を行いました

# 白水台地の陽光「さん」



それぞれの学年で、人権学習をとおして学んだことを発表しました。主なものを紹介します。

※1年生「小さなこえ」というおはなしで学習をして

○「小さなこえ」の学習で、おかしいことに気づく力が大切なことが分かりました。わたしは、ともだちは全然悪くないのに、強く注意していました。でも、違う友達には優しく話していました。これもおかしいことに気づきました。

○ぼくは、みんなで「かいけつわ」で話し合えるのが良いです。みんなも、ちくちくことばを使わなくなりました。ぼくも、友達がいやな気持ちにならないように、ちくちくことばを使いません。いやなことがあっても、帰りの会で、みんなで話し合えるのでうれしいです。ぼくも解決できてうれしかったです。

※2年生「一年間をふり返って、自分はどうか、今はどうかと考えたこと」

○前はだれかが、もめているときにほったらかしにしていたけど、今は気づいて注意するのをがんばっています。

○ぼくは、いじわるしているところを見ているのに、注意していないから、いじわるしているところを見たら、自分で注意したり、先生を呼んだりしたいです。

※3年生「島ひきおに」を学習して

○ぼくは、相手のことをよく知らなかったから、見た目できめつけて、いやなことを言ってしまったことがあります。でも、これからは、見た目で判断せず、その人の話をしっかり聴きたいです。

○ぼくはいやなことを言われて、その時自分の気持ちを伝えられないことがありました。それは、時間がたってしまったからです。これからは、言われたらすぐに自分の気持ちを伝えようと思います。

低学年は、おかしいことに気づく力や、決めつけをしないこと、勇気をもって注意すること等について、一人一人が自分の言葉で発表しました。自分自身のことを見つめ直す、とても良い学びができました。高学年は次週に紹介します。



## 新型コロナウイルス感染症について

みなみっ子集会で、新型コロナウイルス感染症のニュースから考えたことについて意見が出ました。集会後すぐに各学年の実態に応じて指導をしました。家庭におかれましても、国や地方公共団体が発表する正確な情報を収集・把握して、下記の点につきましてご配慮をお願いいたします。

①新型コロナウイルス感染症対策では、通常の風邪や季節性のインフルエンザ対策と同様に、お一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施が重要です。子どもたちには、外から帰った時などに、必ず手洗いをすると共に、正しい知識に基づいて冷静に行動するように指導してください。

②新型コロナウイルスを理由としたいじめや偏見は、決して許されることではありません。住み慣れた地域や学校を離れづらい思いをしている子どもたちや、感染拡大防止に向けて懸命に働いているご家族をもつ子どもたちを傷つけるような、心ない言葉や態度がとられることはあってはなりません。保護者の方におかれましてもご配慮をお願いします。

